

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	アスベスト対策事業			事業番号	010-054
担当部署名	環境	局	環境保全	部	環境共生 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴールはつくる責任つかう責任	ターゲット	12.4
			有	取組	アスベスト対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度		平成 30 年度		終了（予定）年度		令和 5 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）		堺市アスベスト対策推進本部規程、大気汚染防止法、大阪府生活環境の保全等に関する条例、石綿障害予防規則、建築基準法、建設リサイクル法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律				

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民（約 83万人）、事業者（市内約 3万事業所及び他市事業所を含む。）、建築物所有者等
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>【普及啓発（継続取組）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民・事業者・本市職員等に対し、アスベストに関する知識の普及・啓発のための研修会・勉強会・講演会等を開催。 ・市民・事業者等に対しては、正しい知識を正しく理解していただけるよう、労働基準監督署・NPO法人等関係機関の専門的知識を有する講師を招き、庁内関係部局とも連携し、講演内容等について調整の上、講演会等を開催。 ・本市職員に対しては、知識の習得・向上を図るため、予算執行を伴わない事業として庁内研修会・勉強会を開催。 <p>【災害時対策（令和3年度拡充取組）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時におけるアスベストの飛散防止対策については、自治体、建築物所有者、解体等工事事業者、廃棄物処理業者等、実施・責任主体が多岐にわたることなどから、専門分野の事業者への業務委託により、堺市版の対応マニュアルを作成。 <p>※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載</p>
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者（環境・防災分野のコンサルタント事業者）
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 終了（予定）年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和5年度
11 講演会参加者数	人	目標値	200	100	100	100
		実績値	112	0		
		達成率	56%	0%		
当該指標を選定した理由		市民・事業者等に対するアスベストの普及啓発に係る取組の成果を把握するため				
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルス感染防止対策により、会場の入場制限を考慮し、令和2年度に新たな目標を設定。				
12 活動指標(成果を上げるための手段) 市民・事業者等に対する講演会の開催	回	目標値	2	2	2	
		実績値	2	0		
		達成率	100%	0%		
当該指標を選定した理由		市民・事業者等に対するアスベストの普及啓発に係る取組の成果を把握するため				
目標値の設定根拠・算出方法		アスベストに対する知識の普及・啓発のため、講演会等の開催を目標とする。				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	アスベスト対策事業	事業番号	010-054
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	129	0	76	0	3,094
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	129	0	76	0	3,094
14 人件費 (b)	1,640	1,620	1,640	1,640	1,640
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,769	1,620	1,716	1,640	4,734

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	講演会開催費用	R2	決算	0	0	R2	決算		
		R3	予算	73	73	R3	予算		
	「災害時飛散防止マニュアル」策定支援業務等	R2	決算	-	-	R2	決算		
		R3	予算	3,021	3,021	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 講演会参加者数	人	112	0
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,620	0
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	14,464	
備考 (算出についての説明等)	参加者当たりの事務費		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、これまでの関係団体との連携による市民・事業者向けの講演会の開催を中止した。一方、新たな取組として、広報さかい令和3年1月号に啓発記事（知っておきたい「アスベスト」のこと）を掲載し、広く市民・事業者等へのアスベストに関する知識の普及啓発を行った。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	コロナ禍においては、市としての方針を踏まえ、これまでの対面による事業者向け研修会の開催ができない状況となったが、その対応策として、本市のホームページを通じて研修資料を掲載し、広く事業者に周知することで、事業目的である普及啓発を進めることができた。
----	---